




Dell DL4300 アプライアンス リリースノート



メモ、注意、警告

-  **メモ:** メモでは、コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** 注意では、ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 警告では、物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

著作権 © 2015 Dell Inc. 無断転載を禁じます。 この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2015 – 05

Rev. A02


目次

1 はじめに	4
Dell DL4300 アプライアンスについて.....	4
AppAssure について.....	4
その他の情報.....	4
ライセンスポータルでのアプライアンスの登録.....	5
既知の問題と制限事項.....	6
Appliance (アプライアンス) タブで、Safely Remove USB Drive (USB ドライブを安全に 取り外す) オプションが動作しない場合がある.....	6
OpenManage Server Administrator の正常性ステータスが、Appliance (アプライアンス) タブに正常性ステータスと一致しない場合がある.....	6
UI がアクティブのまま一晩置くと、アプライアンスタブが空になる.....	7
アップグレード後、アプライアンスタブのステータスが緑色になる.....	7
リポジトリがアンマウントされたときに警告が表示されない.....	7
SATA デバイスをプロビジョニングしようとしても、エラーメッセージが表示されない.....	7
言語およびロケール問題.....	7
Windows 起動時に英語以外の言語が選択された.....	8
OpenManage Server Administrator の問題.....	8
OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない.....	8
OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する.....	8
タスクが例外エラーで失敗する.....	9
Recovery and Update Utility の完了に時間がかかりすぎる.....	9
リポジトリの手動リカバリ.....	9
MD1400 エンクロージャの予想外の交換による不正確な報告.....	10
AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない.....	10
ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない.....	10
設定に NIC が選択されていないときにエラーが表示される.....	11
メッセージを閉じることができない.....	11
ライセンスキーインストールの失敗が表示されない.....	11
ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する.....	11
ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される.....	12
エラーメッセージが誤った FTBU.dat ファイルの場所を表示する.....	12
画面解像度を変更してもストレージプロビジョニングウィンドウのサイズが変わらない.....	12
困ったときは.....	12
デルへのお問い合わせ.....	12

はじめに

本書では、Dell DL4300 アプライアンスについての重要な製品情報および追加情報を説明しています。本リリースの新機能は次の通りです。

- Rapid Appliance Self Recovery (RASR)
- ファイバチャネル構成 (オプション)

 **メモ:** 本リリースにおける新機能の詳細については、dell.com/support/home で『Dell DL4300 Appliance Deployment Guide』(Dell DL4000 アプライアンス導入ガイド) を参照してください。

Dell DL4300 アプライアンスについて

DL4300 アプライアンスは、AppAssure ソフトウェアを搭載した完全構成済みのバックアップアプライアンスです。DL4300 には、アプリケーションとデータの迅速なリカバリのため、ストレージ容量とスタンバイ仮想マシン (VM) が、スナップショット、レプリケーション、重複排除、および圧縮ソフトウェアと共に統合されています。

お使いのアプライアンスの動作：


- バックアップ時間を排除するために役立ちます。
- 最高 5 分ごとの頻度でスナップショットを作成します。
- 重要なサーバーを素早く復元するために、最大 2 つ、または 4 つのスタンバイ VM を維持します。
- 統合されたインライン方式のブロックレベル重複排除および圧縮と共に、WAN レプリケーション用に最適化されたバックアップを提供します。
- DL4300 ストレージとリモート管理用の iDRAC の自動プロビジョニングのために、ウィザードベースの設定ユーティリティを提供します。



AppAssure について

AppAssure は、ほぼゼロに近いリカバリ時間、リカバリの検証、仮想サーバーと物理サーバーのクロスプラットフォームリカバリを提供する、統一かつ統合されたバックアップ/レプリケーションソフトウェアです。

AppAssure ソフトウェアの重要な製品機能と制限事項についての詳細は、support.software.dell.com/appassure/5.4.3 で『AppAssure Release Notes』(AppAssure リリースノート) を参照してください。

その他の情報

 **メモ:** すべての Dell OpenManage マニュアルは、dell.com/openmanagemanuals にアクセスしてください。

-  **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、dell.com/support/home でアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。
-  **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator に関するマニュアルは、dell.com/openmanage/manuals を参照してください。

製品マニュアルには次が含まれます。

はじめに	システム機能、システムのセットアップ、および技術仕様の概要を提供します。このマニュアルもシステムに同梱されています。
オーナーズマニュアル	システムの機能、システムのトラブルシューティング方法、およびシステムコンポーネントの取り付けまたは交換方法について説明しています。
導入ガイド	AppAssure アプライアンスのハードウェア導入、および初期展開についての情報を提供します。
ユーザーズガイド	システムの設定および管理についての情報を提供します。
『OpenManage Server Administrator User's Guide』 (OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド)	お使いのシステムを管理するための Dell OpenManage Server Administrator の使用についての情報を提供します。
『System Placemat』 (システムプレースマット)	お使いの AppAssure ソリューションにおけるハードウェアのセットアップ、およびソフトウェアのインストール方法についての情報を提供します。
『Resource Media』 (リソースメディア)	システムに付属のメディアには、OS、システム管理ソフトウェア、システムアップデート、およびシステムと同時に購入されたシステムコンポーネントに関するものを含め、システムの設定と管理用のマニュアルとツールが収録されています。
『Interoperability Guide』 (相互運用ガイド)	DL4300 アプライアンス対応のソフトウェアおよびハードウェアについての情報の他、使用時の考慮事項、推奨事項、および規則についての情報を提供します。

ライセンスポータルでのアプライアンスの登録

1. お使いのウェブブラウザで、ご購入時に送信された電子メールに記載されている、ウェブサイト URL のライセンスポータルに移動します。
2. **Register** (登録) ページの **E-mail Address** (電子メールアドレス) テキストボックスに、ご契約に関連する電子メールアドレスを入力します。
3. アプライアンスのライセンス番号またはサービスタグを入力します。
複数のアプライアンスをお持ちの場合は、サービスタグまたはライセンス番号の入力後に <Enter> キーを押して、追加の番号を入力してください。
4. **Activate** (アクティブ化) をクリックします。
入力した電子メールアドレスがライセンスポータルに登録されていない場合 (新しいライセンスポータルアカウントの場合) は、電子メールを使用してライセンスポータルにアカウントを作成するようプロンプトが表示されます。

5. 情報を入力して、ライセンスポータルにアカウントを作成します。
登録すると、ライセンスポータルにログオンされます。電子メールアドレスにも、アクティベーション電子メールが送信されます。
6. ライセンスキーのリストが記載された登録の成功通知が表示されます。この通知には、ライセンスキーをアプライアンスに適用するための次の手順が説明されています。
 - a. お使いのアプライアンスの Core Console を起動します。
 - b. **Core Configuration (コア設定) → Licensing (ライセンス)** と移動します。
 - c. **Change License (ライセンスの変更)** をクリックします。
 - d. 登録の成功通知メッセージに記載されているソフトウェアライセンスキーをコピー & ペーストして、変更を保存します。
7. **OK** をクリックします。


詳細については、<http://documents.software.dell.com/AppAssure/> で入手可能な『Dell Software License Portal User Guide』（デルソフトウェアライセンスポータルユーザーガイド）を参照してください。

既知の問題と制限事項

Appliance (アプライアンス) タブで、**Safely Remove USB Drive (USB ドライブを安全に取り外す)** オプションが動作しない場合がある

説明

Backup (バックアップ) ページで RASR USB キーを作成した後、**Safely Remove USB Drive (USB ドライブを安全に取り外す)** オプションが機能しない場合があります。また、タスクバーの **Safely Remove Hardware and Eject Media (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す)** を使用して USB キーをマウント解除しようとしても、RASR USB キーが取り出せない場合があります。

 **注意: USB キーを手動で取り外さないでください。**

回避策 / 解決方法

システムからログオフして、ログインし直します。その後、**Safely Remove USB Drive (USB ドライブを安全に取り外す)** またはタスクバーの **Safely Remove Hardware and Eject Media (ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す)** オプションを使用して、再び USB キーの取り外しを試みます。

OpenManage Server Administrator の正常性ステータスが、Appliance (アプライアンス) タブに正常性ステータスと一致しない場合がある

説明

Appliance (アプライアンス) → Health (正常性) タブの **Appliance Hardware (アプライアンスハードウェア)** または **Storage Hardware (ストレージハードウェア)** が、**OpenManage Server Administrator** の **Health (正常性)** ステータスとの一貫性がない場合があります。**Appliance Hardware (アプライアンスハードウェア)** ステータスが、**Main System Chassis (メインシステムシャーシ)** ステータスと一致しない場合があります。**Storage Hardware (ストレージハードウェア)** ステータスが、**OpenManage Server Administrator** の **Storage Status (ストレージステータス)** と一致しない場合があります。

回避策 / 解決方法 該当なし

UI がアクティブのまま一晩置くと、アプライアンスタブが空になる

説明 ユーザーインターフェース (UI) をアクティブにしたまま一晩置くと、アプライアンスタブは空になります。

対策 F5 を押してウィンドウをリフレッシュします。

アップグレード後、アプライアンスタブのステータスが緑色になる

説明 システムのアップグレード後、情報は表示されず、Core のアプライアンスタブのステータスが緑色になります。

対策 ローカルアドミニストレータとしてログインを試み、問題がなければドメイン管理者として再度ログインし、Service Request Manager(SRM) サービスをセットアップしてドメインアカウントを使ってログインします。

リポジトリがアンマウントされたときに警告が表示されない

説明 リポジトリのマウントが解除されても、警告が表示されません。

対策 ボリュームを再度マウントします。詳細については、『*Dell DL4300 Appliance User's Guide*』(Dell DL 4000 Appliance ユーザーズガイド) の「Remounting Volumes」(ボリュームの再マウント) の項を参照してください。

SATA デバイスをプロビジョニングしようとしても、エラーメッセージが表示されない

説明 ストレージをプロビジョニングするために SATA デバイスが使用される場合、エラーメッセージは表示されません。

対策 SATA デバイスは Dell DL4300 または MD1400 システムでサポートされていません。

言語およびロケール問題


説明 DL4300 Backup To Disk アプライアンスは現在、英語をシステムのデフォルト言語として動作するよう設計されています。英語以外の Windows 言語パックを使用すると、システム操作が正しく行われず可能性があります。

回避策 / 解決方法 Windows の選択肢から **English (英語)** を選択し、英語以外の言語パックは使用しないでください。



メモ: Windows の表示用言語は変更できます。Dell AppAssure 設定ウィザードおよび AppAssure ソフトウェアは英語のままとなります。

Windows 起動時に英語以外の言語が選択された

- 説明** Windows 起動時に英語以外の言語設定を選択すると、AppAssure ソフトウェアのアプリケーションスタブに問題が生じます。
- 回避策 / 解決方法** Windows セッションに管理者としてログインします。コマンドウィンドウを開き、`c:\windows\system32\sysprep` に移動して `sysprep.exe/generalize/oobe/reboot` コマンドを実行します。次を選択します：
- 言語として **英語**
 - 国 / 地域として **米国**
 - キーボードレイアウトとして **US**
-  **メモ:** ホスト名の変更には **AppAssure Appliance 設定ウィザード** の使用を強くお勧めします。**AppAssure Appliance 設定ウィザード** が完了している場合は、手動でコンピュータ名を以前の名前に変更します。

OpenManage Server Administrator の問題

- 説明** DL4300 アプライアンスにおける各種サブシステム間での複雑な相互作用のため、OpenManage Server Administrator が正しく機能しないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** DSM SM データマネージャサービスを再起動することで問題が解決されます。

OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない

- 説明** リカバリおよびアップデートのユーティリティを使用すると、稀に OpenManage Server Administrator が正しくインストールされないことがあります。
- 回避策 / 解決方法** **Start (スタート) → Control Panel (コントロールパネル) → Uninstall a program (プログラムのアンインストール) → Dell OpenManage Systems Management Software (Dell OpenManage Systems Management ソフトウェア)** をクリックして手動で OpenManage を削除してから、ソフトウェアを手動で再インストールします。

OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する

- 説明** OpenManage Server Administrator はステータスのアップデートに失敗することがあり、OpenManage Server Administrator のステータスが **Appliance (アプライアンス)** タブの **Overall Status (全体のステータス)** 画面に表示されるステータスと一致しないことがあります。

回避策 / 解決方法 **Server Manager** → **Tools** (ツール) → **Services** (サービス) と移動して、**DSM SA Data Manager** サービスを停止してから再開します。



メモ: **Services** (サービス) ウィンドウに他のサービスを再開する指示が表示されることがあります。サービスを再開後も問題が解決されない場合は、アプリケーションを再起動してください。

タスクが例外エラーで失敗する

説明 **Task failed with exception** (タスクが例外で失敗) のエラーメッセージだけでそれ以外の情報がない場合は、一時的な Windows イベントであることを示す場合があります。

回避策 / 解決方法 処置を再試行します。アクションはそれ以上の **Task failed with exception** (タスクが例外で失敗) エラーを生じることなく完了します。

Recovery and Update Utility の完了に時間がかかりすぎる

説明 ドメイン参加中に **Recovery and Update Utility** を実行すると、完了時間が 90 分を超える場合があります。

回避策 / 解決方法 **Recovery and Update Utility** を迅速化するには、マシンにローカル管理者としてログインします。ドメインにはログオンしないでください。**Recovery and Update Utility** の開始後、ドメインにログオンし直します。

リポジトリの手動リカバリ

災害復旧中、オペレーティングシステムをインストール、**Recovery Update Utility** をダウンロードして実行、FTBU を完了、そして AppAssure を起動してリカバリ処理を終了しました。ただし、不完全なブレードクラムが **Remount Volume** (ボリュームの再マウント) 処理によるボリュームのマウントを阻止しています。

リポジトリを手動でリカバリするには、次の手順を実行します。

1. **Computer Management** (コンピュータの管理) を起動し、**Storage Management** (ストレージ管理) → **Disk Management** (ディスク管理) を選択します。
2. **DL_REPO_xxxx** をラベルが付いたボリュームにドライブ文字を追加します。
3. **DL_REPO_xxxx** ボリュームを検証します。ドライブ文字とファイルのパスをメモし、**AppRecoveryCoreConfigurationBackup** ファイルが存在することを確認します。
4. AppAssure Core Console から **Configuration** (設定) タブを選択し、次に **Restore** (復元) を選択します。
5. **Enter Local Directory Path** (ローカルディレクトリのパスを入力) テキストボックスに、ドライブ文字とリポジトリへのファイルのパスを入力し、**Restore Repositories** (リポジトリの復元) オプションを選択します。
6. **Restore** (復元) をクリックします。
AppAssure がリポジトリを復元しますが、リポジトリのステータスは赤色です。
7. リポジトリ情報を展開して、メタデータのパスをコピーします。

8. PowerShell ウィンドウを開き、次のコマンドをタイプしてマウントポイント用フォルダを作成します：
`md "<metadata path>"`
 -  **メモ:** メタデータのパスから `\File_x` の部分を取り除き、メタデータのパスを引用符で囲んだことを確認します。
9. **Computer Management (コンピュータの管理) → Storage Management (ストレージ管理) → Disk Management (ディスク管理)** からボリュームへのマウントパスを追加します。
 -  **メモ:** メタデータのパスから `\File_x` の部分を取り除いたことを確認します。
10. ドライブ文字を取り除きます。
11. ドライブ文字をすべての `DL_VMRSRV_x` ボリュームに追加します。
12. AppAssure Core Console **Configuration (設定) → Restore (復元)** 画面で **fix path** (パスの修正) をクリックし、次に **Save** (保存) をクリックします。
リポジトリがオンラインに戻り、緑色のステータスを表示します。
 -  **メモ:** それぞれの `DL_REPO_XXXX` ボリュームについて、手順 9~12 を繰り返します。

MD1400 エンクロージャの予想外の交換による不正確な報告

- | | |
|-------------------|--|
| 説明 | MD1400 エンクロージャの予想外の交換は、いくつかのツールにおいて誤った結果を生じる原因となる場合があります。 |
| 回避策 / 解決方法 | エンクロージャ設定の修正後、 AppAssure Appliance Configuration Wizard (AppAssure アプリケーション設定ウィザード) を再開し、すべての手順を完了してください。 |

AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない

- | | |
|-------------------|--|
| 説明 | 管理者権限のないドメインユーザーに対し、AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットが表示されません。 |
| 回避策 / 解決方法 | AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットは、管理者権限のあるユーザーにのみ表示されます。アプライアンスにローカル管理者、または管理権限を持つユーザーとしてログオンしてください。 |

ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない

- | | |
|-------------------|--|
| 説明 | システム (AppAssure Core Console がインストール済み) のホスト名の変更後、 スタート → AppAssure → Core にある AppAssure Core Console のショートカットが新しいホスト名でアップデートされません。 |
| 原因 | この問題は、AppAssure アプライアンス設定ウィザードを使用してホスト名を変更した後、AppAssure Console を閉じて AppAssure Console のデスクトップショートカットを削除すると発生します。 |
| 回避策 / 解決方法 | AppAssure Core Console のデスクトップショートカットを削除しないでください。 |

設定に NIC が選択されていないときにエラーが表示される

説明	NIC をまったく選択せずにアプライアンスを設定するとエラーが表示されます。
回避策 / 解決方法	アプライアンスの設定中、イーサネットポートを少なくともひとつ接続してください。 <ol style="list-style-type: none">1. 表示されたエラーメッセージを閉じます。2. アプライアンスを再起動します。3. 少なくともひとつのイーサネットポートを接続します。4. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを開始し、設定用に少なくともひとつの NIC ポートを選択します。

メッセージを閉じることができない

説明	ストレージプロビジョニングでのエラー発生後に AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じようとする、待機するように促すプロンプトが表示されます。アプライアンスが応答しなくなり、表示されたメッセージを閉じることができません。
回避策 / 解決方法	システムのタスクマネージャを使用して AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じてください。AppAssure アプライアンス設定ウィザードを再開して設定を完了します。

ライセンスキーインストールの失敗が表示されない

説明	各種コンポーネント用のライセンスキーのインストールが失敗しても、アプライアンスが Software License (ソフトウェアライセンス) に赤い X を表示しません。
回避策 / 解決方法	ライセンスキーのインストールを再度実行してください。

ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する

説明	AppAssure アプライアンス設定ウィザードを使用して誤ったデータ (例えば、誤ったホスト名、ドメイン資格情報など) を入力すると、アプライアンスの設定が失敗します。 AppAssure サービスは自動的に再起動されないことから、AppAssure アプライアンス設定ウィザードが再開後も継続的に失敗する場合があります。 AppAssure サービスが実行されていないと、ライセンスキーのインストールも失敗します。
回避策 / 解決方法	<ol style="list-style-type: none">1. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じます。

2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
3. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを再開します。

ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される

説明 ライセンス設定の失敗時に、次の誤ったエラーメッセージが表示されます。
A critical error occurred. Click 'Back' to try again. If the issue persists, contact Dell Support for assistance

- 回避策 / 解決方法**
1. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じます。
 2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
 3. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを再開します。

エラーメッセージが誤った FTBU.dat ファイルの場所を表示する

説明 AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗すると、エラーメッセージが FTBU.dat の場所を C:\Program Files\Dell\PowerVault\Appliances\DL\ として誤って表示する場合があります。

回避策 / 解決方法 正しい FTBU.dat の場所は C:\Program Files\Dell\PowerVault\Appliances\DL\FTBU\ です。


画面解像度を変更してもストレージプロビジョニングウィンドウのサイズが変わらない

説明 ストレージプロビジョニングウィンドウが開いていると、画面解像度を変更しても、ストレージプロビジョニングウィンドウのサイズが、アップデートされた画面解像度に応じて変更されません。

- 回避策 / 解決方法**
- 最低画面解像度 1024 x 768 を使用してください。
 - AppAssure アプライアンス設定ウィザードの実行中は画面解像度を変更しないでください。
 - AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じてから再開してください。

困ったときは

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。販売、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスの問題に関するデルへのお問い合わせは、software.dell.com/support にアクセスしてください。